

通信教育課程の ご案内 **2027**

▶ 二級建築士受験科(2年制) / ▶ 一級建築士受験科(3年制)

仕事・学業(ダブルスクール)を続けながら
最短2年で二級建築士あるいは3年で一級建築士の
受験資格が取得できます。

mdc独自の通信教育は eラーニングとスクーリングが

効率的な学習で
確実にレベルアップ

社会人やダブルスクール
大学生も好きな時間に
好きなだけ受講可能です。

第一線で活躍する
プロの講師がサポート

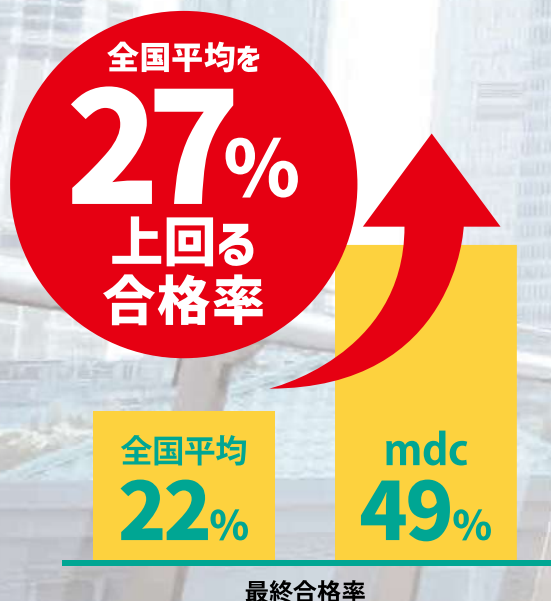
講師が直接対面指導するから、
試験の座学・実技が
しっかり身につきます。

最短で建築士
試験の受験
資格取得!!

建築の学部卒でなくても、
誰でも卒業を目指せる
カリキュラムを組んでいます。

安心・安全に
受験資格
獲得ができる

実務に長けたプロの講師が
在学中から受験資格獲得に向けて
しっかりサポートします。



10期合計卒業数

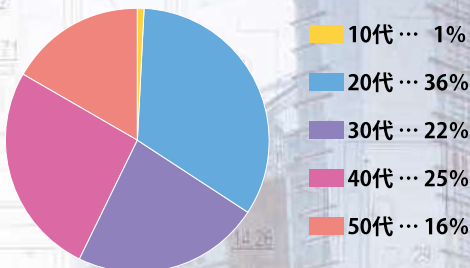
920名

社会人でも
無理なく
学べる

自慢です!

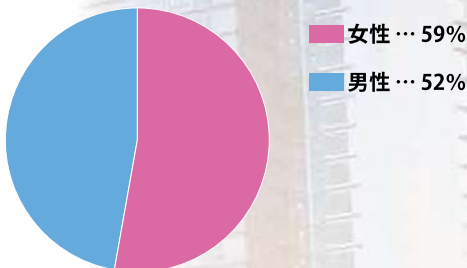
受講生の年齢層

平均年齢は36.5歳
様々な年齢層の方が学んでいます



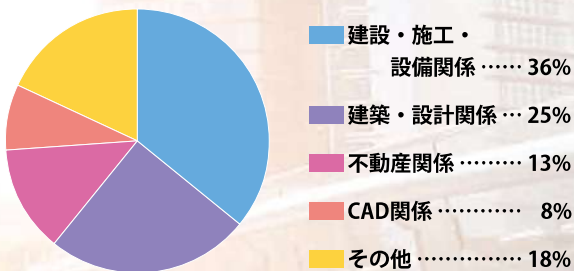
受講生の男女比

女性が半数を占めているのが特徴です



受講生の所属業種

建築・建設関係が過半数ですが
設計以外の職種に就いている方が大半です



大東建託株式会社
大和ハウス工業株式会社
旭化成ホームズ株式会社
株式会社日建設 など

通信教育について

当校では2014年8月に東京都より二級建築士受験科の認可申請が認められ、二級建築士の受験資格が取得できる通信制の専門学校として12年目を迎え、毎年250名近くの受講生が学んでいます。

卒業生もすでに第10期生までが卒業後に二級建築士試験にチャレンジし、すでに290名を超える二級建築士が誕生しています。

2020年には建築士法が改正され、当校にも建築系の大学を卒業されていない方より、一級建築士の受験資格取得に関する問い合わせも寄せられるようになってきました。また、卒業生のなかにも二級建築士合格後に一級建築士の受験を目指し、合格する方も増えてきています。

そこで、当校でも、二級建築士受験科に加え、2021年4月より3年制の一級建築士受験科を開講いたしました。

二級建築士受験科のカリキュラムをベースに、一級建築士受験資格取得に必要な指定科目53単位を3年間で習得していただき、卒業後に一級建築士試験を受験することが可能な学科となっています。

仕事をしながらでも無理なく学習を続け、二級建築士あるいは一級建築士の受験資格を取得したいというニーズにこたえられるような学科を目指してまいりますので、ぜひご検討ください。

CONTENTS

学科案内	03
二級建築士受験科	05
一級建築士受験科	07
通信教育の授業科目の流れ	09
eラーニングの授業	11
スクーリングの授業	13
1年ごとの流れ	15
講師からのメッセージ	17
受講生の声	18
通信教育の単位認定の方法	19
通信教育の入学から卒業まで	20
サポート体制	21
よくあるご質問	23
建学の精神	25
mdcからのメッセージ	25
アクセス	26

学科案内

働きながら、学業と並行しながら
建築士の受験資格取得を目指す方のために、
学習体制を整えてお待ちしております。



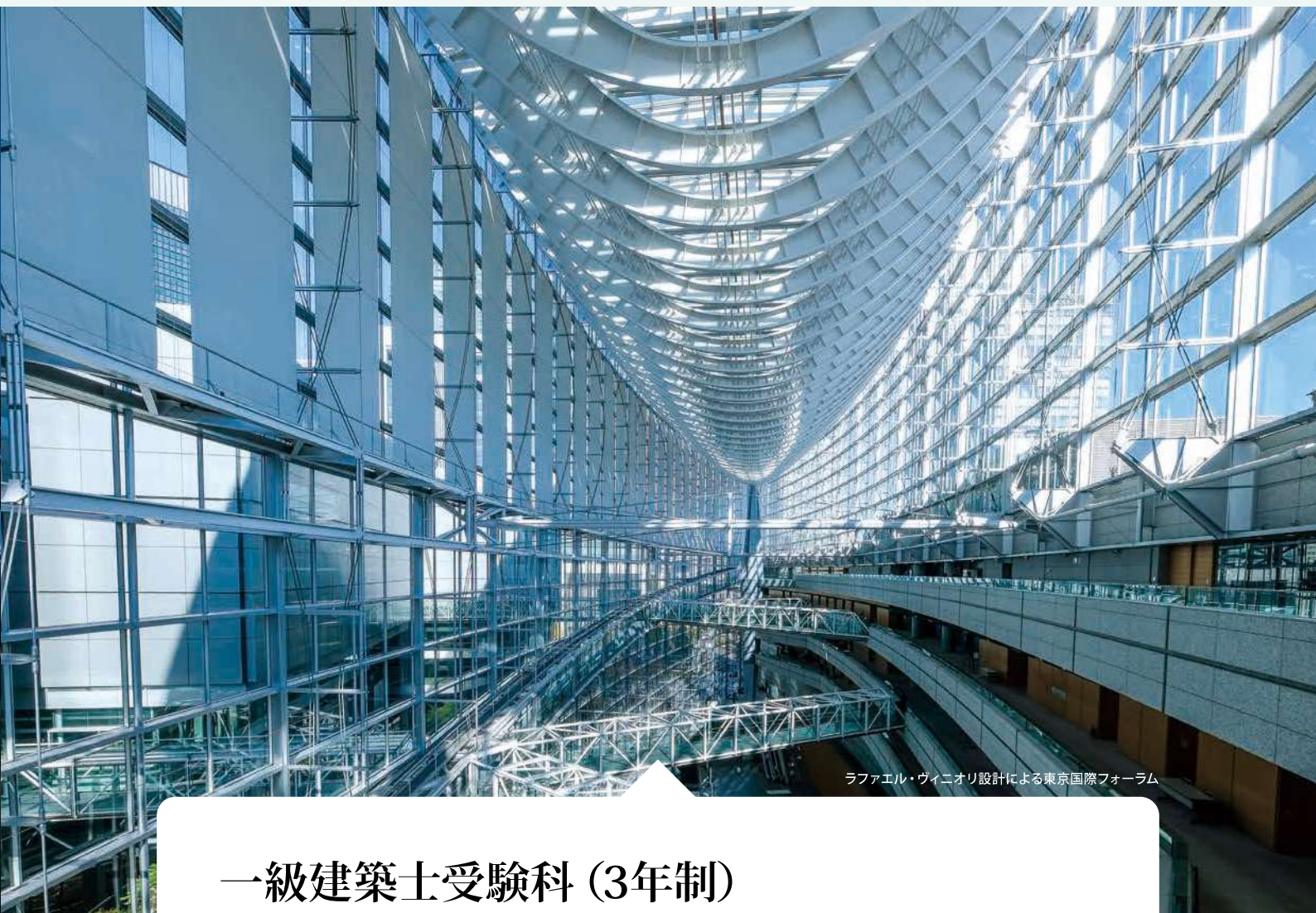
二級建築士受験科 (2年制)

※当講座は「一般教育訓練指定講座」です。

学科試験に必要な建築計画、建築法規、建築構造ならびに建築施工をはじめ、学科試験合格後の建築製図を中心に、二級建築士試験に必要な指定科目に関する知識と技能を2年間で効率よく学んでいきます。仕事や学業を続けながら資格取得を目指すことは、なかなか大変ですが、スクーリング日程を柔軟に選択できる仕組みや、繰り返し学習を可能にするeラーニングを採用して、受講生の学習環境を整えています。建築の専門的な勉強は初めてという方や、手書きの図面など書いたことがないという方でも、卒業までに建築士試験を受験するための基本的な知識と技能を身につけることができるカリキュラムとなっています。

専門課程

働きながらあるいは大学とのダブルスクールで建築士の受験資格を2年または3年で取得できる「二級建築士受験科」「一級建築士受験科」を開講しています。国が定めた指定科目を効率よく学習するカリキュラムを組んでいます。



ラファエル・ヴィニオリ設計による東京国際フォーラム

一級建築士受験科 (3年制)

建築士法の改正により受験がしやすくなり、2021年4月に一級建築士試験に必要な指定科目に関する知識と技能を3年間で効率よく学ぶ学科として開講しました。一級建築士試験は、学科試験科目も5科目と多く、設計製図試験も二級建築士試験とは比較にならないほど難関ですが、二級建築士受験科と同様に、繰り返し学習を可能にするeラーニングを採用して、一級建築士試験を受験するための基礎を身につけられるよう、受講生の学習環境を整えています。



二級建築士受験科 (2年制)

学科の特徴

当校の通信教育の入学者の大半は二級建築士を目指す社会人の方々です。建築系の大学や工業高校を卒業していなくても、2年間の学習で効率よく指定科目40単位を取得して、二級建築士の受験資格が取得できます。すでに開講から11年目を迎え、全くの初心者でもまた異業種の方でも、二級建築士試験に合格しています。(⇒1ページ参照)

働きながら、また、大学とのダブルスクールで二級建築士の受験資格を取得したい方々にぴったりの通信教育となっています。また、当学科の講座は働く方にやさしい「一般教育訓練指定講座」となっています。(⇒募集要項 P7「学費サポート」参照)

専門領域

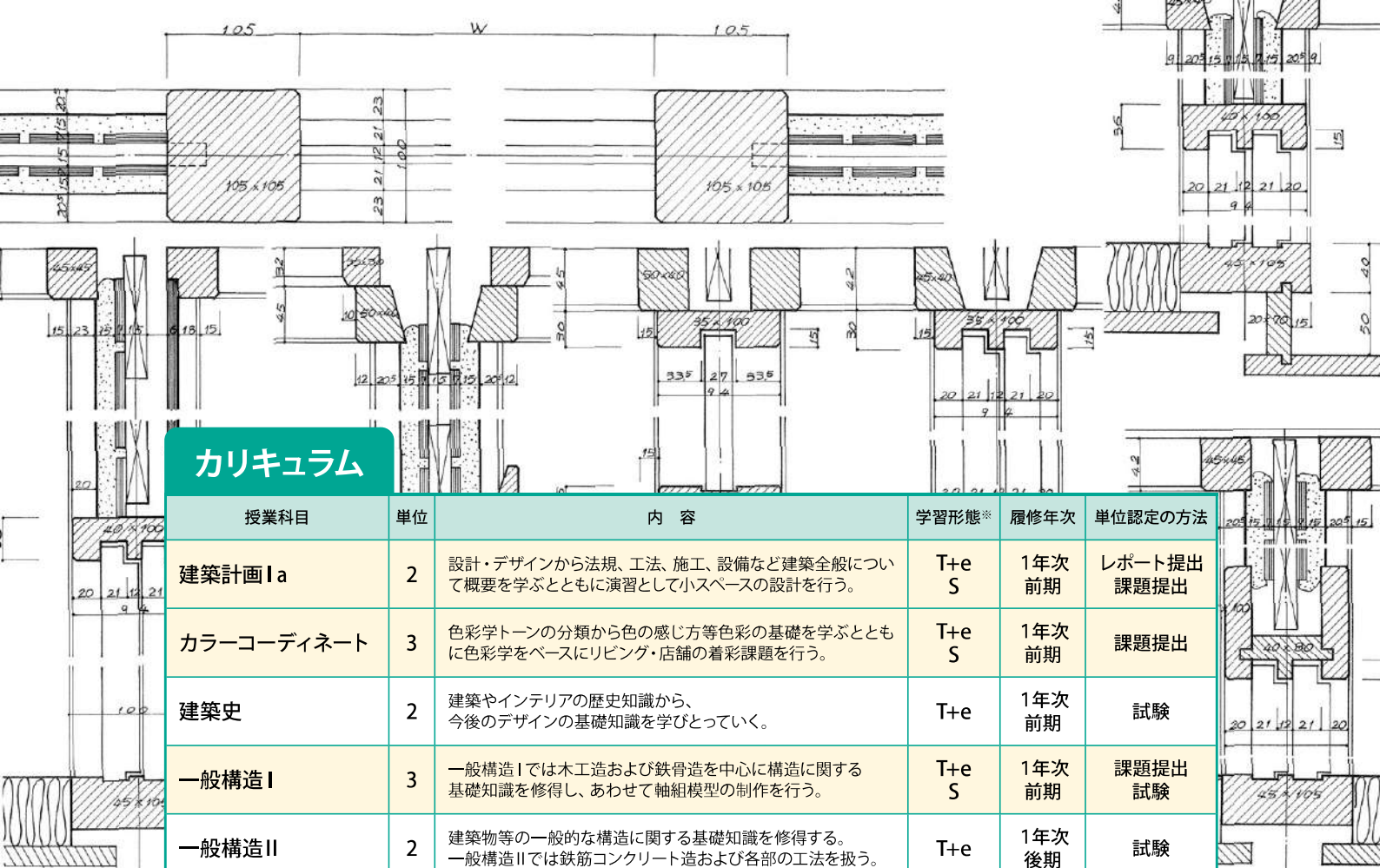
▶ 二級建築士受験資格

国土交通大臣の指定する科目(40単位)の履修を行い卒業資格を取得します。履修する科目・内容についてはカリキュラムを参照してください。

目標とする資格

二級建築士
商業施設士
建築施工管理技士
施工技術者
建築設備技術士 など





カリキュラム

授業科目	単位	内容	学習形態※	履修年次	単位認定の方法
建築計画Ⅰa	2	設計・デザインから法規、工法、施工、設備など建築全般について概要を学ぶとともに演習として小スペースの設計を行う。	T+e S	1年次 前期	レポート提出 課題提出
カラーコーディネート	3	色彩学トーンの分類から色の感じ方等色彩の基礎を学ぶとともに色彩学をベースにリビング・店舗の着彩課題を行う。	T+e S	1年次 前期	課題提出
建築史	2	建築やインテリアの歴史知識から、今後のデザインの基礎知識を学びとっていく。	T+e	1年次 前期	試験
一般構造Ⅰ	3	一般構造Ⅰでは木工造および鉄骨造を中心に構造に関する基礎知識を修得し、あわせて軸組模型の制作を行う。	T+e S	1年次 前期	課題提出 試験
一般構造Ⅱ	2	建築物等の一般的な構造に関する基礎知識を修得する。一般構造Ⅱでは鉄筋コンクリート造および各部の工法を扱う。	T+e	1年次 後期	試験
建築環境	2	建築物の室内における光、音、空気、温度等の環境が人の健康に与える影響に関する基礎的な知識を修得する。	T+e	1年次 後期	試験
建築材料	2	建築物に使用される木材、コンクリート等の材料に関する知識及びその積算方法の基礎を学ぶ。	T+e	1年次 後期	試験
建築計画Ⅰb	3	建築物の配置計画、寝室などの単位空間、住宅計画や都市計画などの基礎知識を修得。併せて別荘の設計課題に取り組む。	S	1年次 後期	課題提出
建築製図Ⅰ	4	1年次の建築製図Ⅰでは平面図、立面図、伏図などの作図を通じて、木造、RC造の作図手順を理解する。	S	1年次 通年	課題提出
建築設備	2	室内環境形成のための換気、冷暖房、安全性確保のための消火、排煙等および電気、ガス等の設備の基礎知識を修得する。	T+e	2年次 前期	試験
建築法規Ⅰ	2	建築士に欠かせない建築基準法を中心に採光、高さ制限など建築物等に関する法令の基礎知識を修得する。	T+e	2年次 前期	試験
設計演習Ⅰ	3	将来の実務を見据えて、木造二階建て住宅の設計計画のプランニングとプレゼンテーションを学ぶ。	S	2年次 前期	課題提出
建築法規Ⅱ	2	建築法規Ⅰに続き、防火区画、避難施設、構造強度などの分野や建築士試験で扱われる建築士法やその他法令を扱う。	T+e	2年次 後期	試験
構造力学	2	建築物等の応力または変形等を求める構造計算の基礎理論に関する基礎知識を修得する。	T+e	2年次 後期	試験
建築施工	2	建築物の施工計画、各種工事、工事施工等生産過程など、学科試験の建築施工に向けての基礎知識を修得する。	T+e	2年次 後期	試験
建築製図Ⅱ	4	2年次の建築製図Ⅱでは建築士試験に備え、エスキスの進め方、図面を時間内に仕上げる手順を身につける。	S	2年次 通年	課題提出
卒業に必要な 総単位数	40単位				

二級建築士の受験資格を取得しようとする者は、上記表中の指定科目をすべて履修するものとする。

※学習形態の記号の説明：T+e = テキスト + 映像教材学習、S = スクーリング中心科目



一級建築士受験科 (3年制)

学科の特徴

通信教育の3年間で一級建築士の受験資格が取得できる学科です。従来実務経験を経たうえで受験が可能だった一級建築士試験が、指定科目を修得し学校を卒業後にすぐに受験が可能になりました。これを受けて、一級建築士の受験者数の増加が見込まれており、建築系の大学を卒業した方たち以外にも、一級建築士の資格取得の需要が増えていく傾向にあります。

このような状況を踏まえて、当校では将来の一級建築士不足解消も視野に入れ、受験に必要な指定科目53単位を効率よく取得し、最短3年で卒業後の年に一級建築士試験を受験できる学科を創設いたしました。

仕事をしながら、少しでも早く受験資格を取得したいという社会人の方や、建築系以外の大学に在学しながら、卒業と同時に一級建築士試験にチャレンジしたいという大学生を対象とした学科となっています。

なお、一級建築士受験科のスクーリングは土日のみ開講となっています。

専門領域

▶ 一級建築士受験資格

国土交通大臣の指定する科目(当校では53単位)を履修し卒業資格を目指します。履修する科目・内容についてはカリキュラムを参照してください。



カリキュラム

授業科目	単位	内容	学習形態※	履修年次	単位認定の方法
建築計画Ⅰa	2	設計・デザインから法規、工法、施工、設備など建築全般について概要を学ぶとともに演習として小スペースの設計を行う。	T+e S	1年次前期	レポート提出 課題提出
カラーコーディネート	3	色彩学トーンの種類から色の感じ方等色彩の基礎を学ぶとともに色彩学をベースにリビング・店舗の着彩課題を行う。	T+e S	1年次前期	課題提出
建築史	2	建築やインテリアの歴史知識から、今後のデザインの基礎知識を学びとっていく。	T+e	1年次前期	試験
一般構造Ⅰ	3	一般構造Ⅰでは木工造および鉄骨造を中心に構造に関する基礎知識を修得し、あわせて軸組模型の制作を行う。	T+e S	1年次前期	課題提出 試験
一般構造Ⅱ	2	建築物等の一般的な構造に関する基礎知識を修得する。一般構造Ⅱでは鉄筋コンクリート造および各部の工法を扱う。	T+e	1年次後期	試験
建築環境	2	建築物の室内における光、音、空気、温度等の環境が人の健康に与える影響に関する基礎的な知識を修得する。	T+e	1年次後期	試験
建築材料	2	建築物に使用される木材、コンクリート等の材料に関する知識及びその積算方法の基礎を学ぶ。	T+e	1年次後期	試験
建築計画Ⅰb	3	建築物の配置計画、寝室などの単位空間、住宅計画や都市計画などの基礎知識を修得。併せて別荘の設計課題に取り組む。	S	1年次後期	課題提出
建築製図Ⅰ	4	1年次の建築製図Ⅰでは平面図、立面図、伏図などの作図を通じて、木造、RC造の作図手順を理解する。	S	1年次通年	課題提出
建築設備	2	室内環境形成のための換気、冷暖房、安全性確保のための消火、排煙等および電気、ガス等の設備の基礎知識を修得する。	T+e	2年次前期	試験
建築法規Ⅰ	2	建築士に欠かせない建築基準法を中心に採光、高さ制限など建築物等に関する法令の基礎知識を修得する。	T+e	2年次前期	試験
設計演習Ⅰ	3	将来の実務を見据えて、木造二階建て住宅の設計計画のプランニングとプレゼンテーションを学ぶ。	S	2年次前期	課題提出
建築法規Ⅱ	2	建築法規Ⅰに続き、防火区画、避難施設、構造強度などの分野や建築士試験で扱われる建築士法やその他法令を扱う。	T+e	2年次後期	試験
構造力学	2	建築物等の応力または変形等を求める構造計算の基礎理論に関する基礎知識を修得する。	T+e	2年次後期	試験
建築施工	2	建築物の施工計画、各種工事、工事施工等生産過程など、学科試験の建築施工に向けての基礎知識を修得する。	T+e	2年次後期	試験
建築製図Ⅱ	4	2年次の建築製図Ⅱでは建築士試験に備え、エスキスの進め方、図面を時間内に仕上げる手順を身につける。	S	2年次通年	課題提出
建築計画Ⅱ	2	学校などの公共建築に特有の計画の留意点を扱うとともに、バリアフリー、地球環境に適した建築計画についても扱う。	T+e	3年次前期	試験
構造力学Ⅱ	2	建築物等の応力または変形等を求める構造計算のうち、不静定構造の基礎理論に関する基礎知識を修得する。	T+e	3年次前期	試験
設計演習Ⅱ	3	一級建築士の製図試験に向けて、RC造の公共建築物を題材に設計計画のプランニングとプレゼンテーションを学ぶ。	S	3年次後期	課題提出
建築演習	2	一級建築士の学科試験の対策として、各科目の試験に出やすい重要なポイントを講義と問題演習で抑えていく。	S	3年次後期	試験
建築製図Ⅲ	4	3年次の建築製図Ⅲでは建築士試験に備え、RC造のエスキスの進め方、図面を時間内に仕上げる手順を身につける。	S	3年次通年	課題提出
卒業に必要な 総単位数	53単位				

一級建築士の受験資格を取得しようとする者は、上記表中の指定科目をすべて履修するものとする。

※学習形態の記号の説明：T+e = テキスト + 映像教材学習、S = スクーリング中心科目

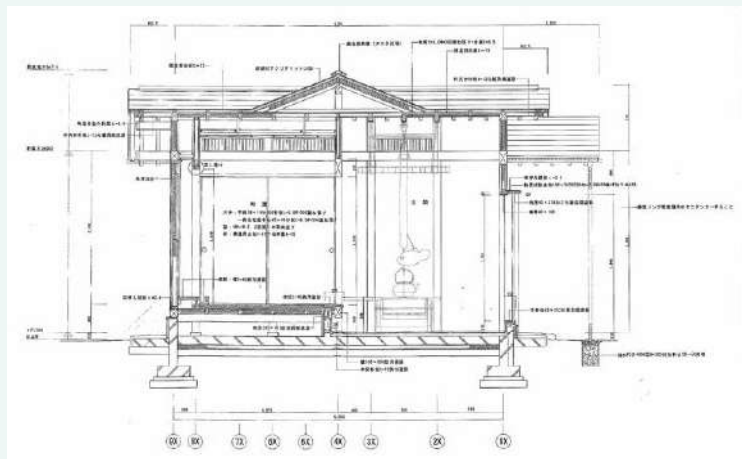


通信教育の授業科目の流れ

町田デザイン&建築専門学校の通信教育の授業科目は、自宅学習中心の科目と、スクーリング中心の科目の2通りに分かれています。一般構造、建築法規、建築施工など学科試験に関わる科目は、主にテキスト+eラーニングを使用した自宅学習を行い、スクーリングでは知識が身についたかどうかを確認するために定期試験を行っています。⇒**eラーニングの授業** (11~12ページ) 一方、設計製図試験に直結する手書きの製図の技術を身につける建築製図や建築計画・設計演習などプランニングの練習を行う科目は、eラーニングで概要を理解していただき、スクーリングを中心に、講師の丁寧な指導を受けながら技術を磨いていきます。6ページあるいは8ページのカリキュラムの表の黄色の網掛けの科目がこれに該当します。⇒**スクーリングの授業** (13~14ページ) ここでは1年次前期の5科目を中心に、授業の内容を簡単にご紹介します。

① 建築計画 I a

学科試験科目の建築計画の基礎知識を学ぶとともに、後半のスクーリングでは、初歩的なプランニング練習を行います。



② 建築史、③ 一般構造 I

建築史、一般構造は建築士の学科試験で問われる知識を学習します。膨大なテキストの範囲から、重要な部分を取り出して、eラーニングで講師が解説していきます。スクーリングでは、学習した内容がきちんと身についたかどうかを確認するため定期試験を行います。



リビング着彩



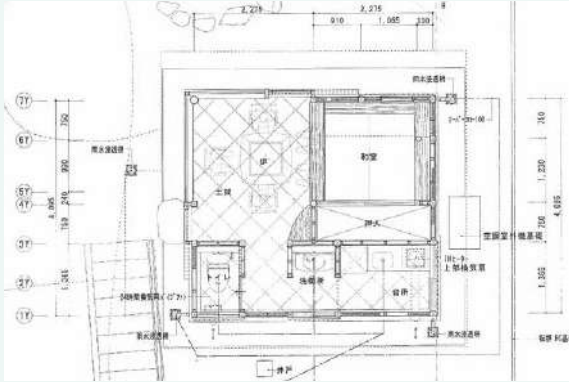
店舗着彩

④ カラーコーディネート

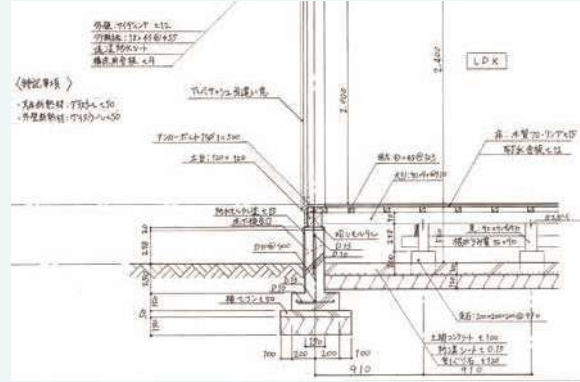
建築士試験では色彩として知識が問われるため、基礎知識を身につけるとともに、スクーリングでは着色課題をこなして知識の具体化を図ります。

5 建築製図Ⅰ (通年)

作図は学科試験合格後の設計製図試験の主要な部分を占めており、建築士試験の最重要科目となりますが、受講生の大半の方は、手書きの作図は初めてです。1年次の建築製図では、実際の試験で問われる木造およびRC造の平面図、立面図、断面図、伏図、矩計図の描き方やルールを、ほぼ毎月のスクーリングを通じて、講師の丁寧な指導の下に身につけていきます。



建築製図課題



建築製図課題 (木造矩計図)

1年次後期以降の授業

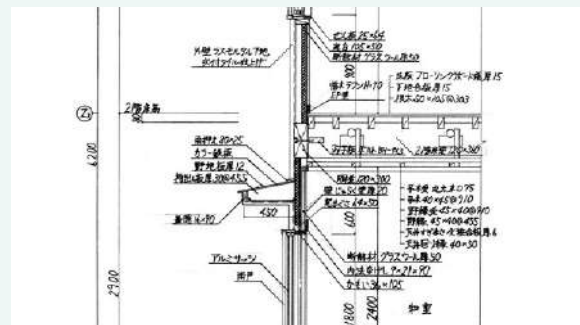
1年後期には、一般構造Ⅱ、建築材料、建築環境の学科試験科目、建築製図Ⅰの後半およびプランニング学習として建築計画Ⅰbで別荘のプランニングを行います。



建築計画Ⅰb (別荘の計画)

2年次以降の授業

2年次(一級建築士受験科では3年次も)以降は、卒業後に受験する建築士試験に備えて、建築法規、建築施工、構造力学等建築士試験に直結する科目を学習します。また、設計製図試験に的を絞った建築製図Ⅱ、建築製図Ⅲでより実践的な作図練習を行うとともに、設計演習Ⅰで木造二階建ての住居のプランニング、一級建築士受験科では設計演習ⅡでRC造の地域交流センターのプランニングを行います。

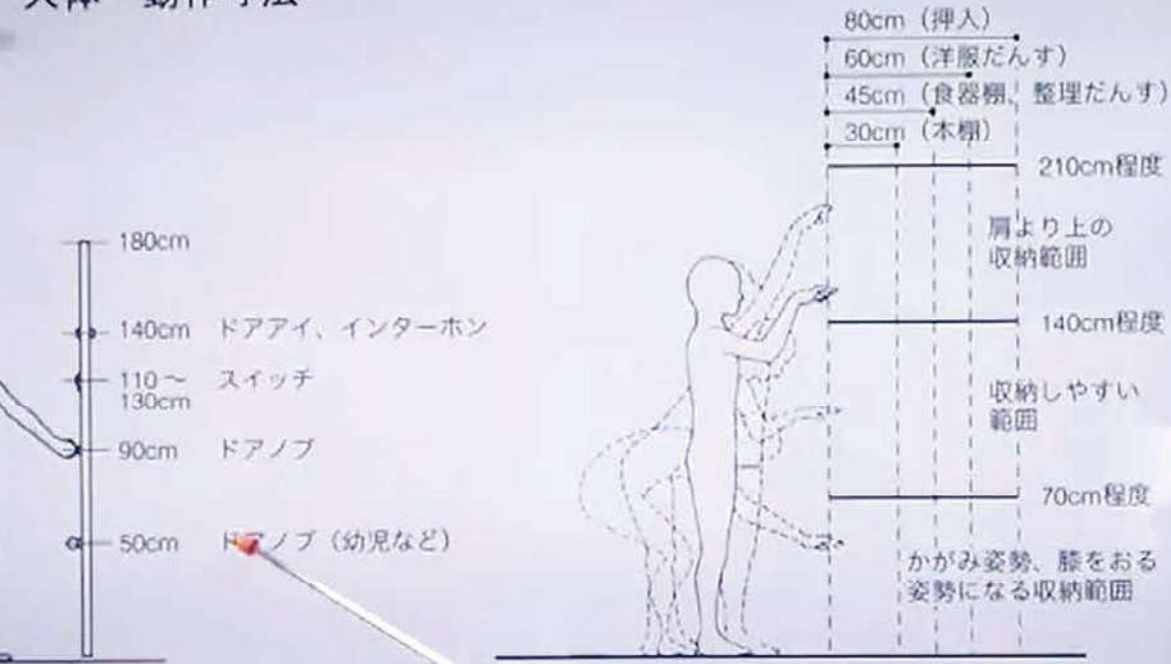


設計演習Ⅰ (木造二階建て住宅)



設計演習Ⅱ (RC造地域交流センター)

人体・動作寸法



eラーニングの授業

当校の通信教育では、スクーリング科目も含めて、ほぼすべての科目に繰り返し学習が可能なeラーニング（映像教材）がついています。テキストの重要ポイントやわかりづらい部分を講師が丁寧に説明しています。また、レポート提出や小テスト等もeラーニング上に設けられていますし、講師への質問もeラーニング上からいつでも行えます。パソコンだけでなくスマートフォン、タブレットにも対応していますので、働きながら学習を続けるうえで強い味方です。

eラーニング授業の進め方

1

eラーニングの流れ

1 サイトにアクセス

HPの「在校生の方」ボタンをクリックします。



町田デザイン&建築専門学校の通信教育ホームページの「在校生の方」ボタンをクリックします。

2

在校生の方

eラーニング ログイン

町田デザイン&建築専門学校通信教育課程 受講生のeラーニング以下のボタンによりeラーニングにアクセスしてください。

ログイン

受講者IDとパスワードでログインします。PC版とスマートフォン版では入口が違います。

3



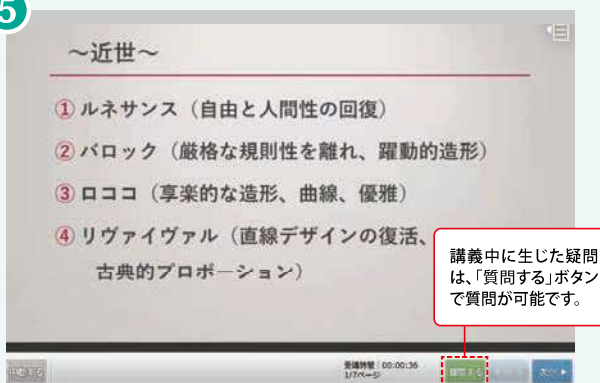
eラーニングのトップ画面に画面が切り替わります。クラスルームのボタンをクリックすると受講できる科目一覧が現れます。スクーリング時の持ち物など、お知らせはインフォメーションをチェックしてください。

4



受講する科目を選択すると各単元が現れますので順番に受講していきます。ご自身の都合を考えたが計画的に進めてください。

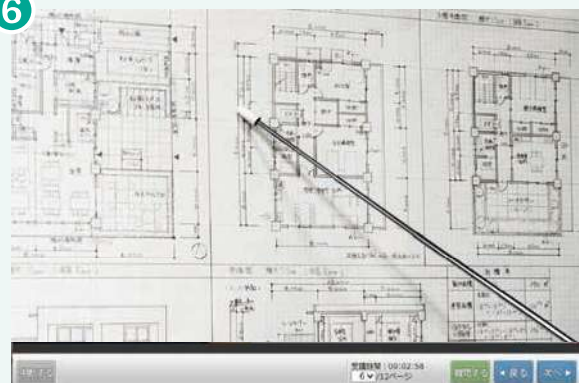
5



講義中に生じた疑問は、「質問する」ボタンで質問が可能です。

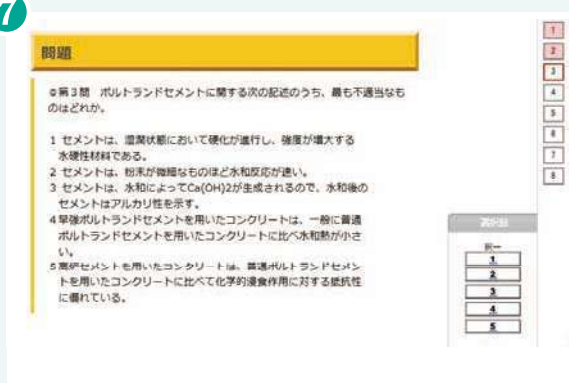
講義系の科目は、テキストと併用して学習をしていきます。テキストで必要なポイントを取り上げて講師が解説していきます。

6



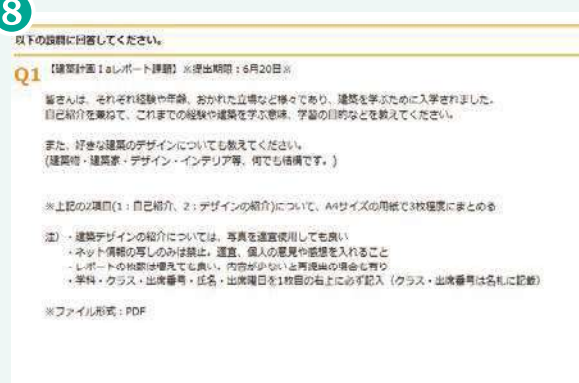
建築製図などの科目では、作図ポイントを解説し、また、講師が実際に作図を行っていきますので、自宅での作図に非常に役立ちます。

7



科目によっては、各単元ごとに確認テストを設けており、学習内容の知識の定着が図れます。

8



レポートもeラーニング上から添付ファイルで送れますので郵送の手間が省けます。

eラーニングお試し視聴はこちらから▶





スクーリングの授業

卒業後に建築士試験を受験するにあたっては、学科試験合格後に設計製図試験に合格しなければなりません。設計製図試験では、学科試験で問われた知識を活かしながら、与えられた条件を読み取ってのプランニング力と正確な図面作成の能力が求められます。当校のスクーリングでは、設計製図試験に必要なプランニング力と図面作成の能力を身につけるため、建築製図、設計演習ではスクーリング中心の授業を組んでいます。一般構造、建築法規、建築施工など学科試験に関連する科目についてのスクーリングは、スクーリングにおいて中間試験・期末試験を行い知識の定着度を見るとともに、木造の構造を理解するための軸組模型の製作や構造力学など一部学科試験対策の講義も組まれています。また、自宅での学習が中心の通信教育において、スクーリング時の講師の直接指導や他の受講生とのコミュニケーションは受講生の貴重な時間ともなります。社会人として忙しいみなさんが休日をスクーリングに割くのはなかなか大変ですが、単位を取得するために、スクーリングに必ず出席できる環境を整えてください。

スクーリング日程

毎年12月ごろには通信教育のホームページに翌年度の予定を掲載予定です。
スクーリング予定掲載はこちら ▶



スクーリングの会場

スクーリングは当校の1号館、3号館、5号館の教室を使用します。
▶ 26ページを参照してください。

スクーリングの様子

① 講義系の科目

学科試験の対象となる建築法規、建築設備等の科目は、テキストとeラーニングによる自宅学習が中心となり、スクーリングでは中間試験・期末試験を行います。構造力学など一部理解が難しい科目では、スクーリングで講義も行います。



構造力学の講義

② 実習系の科目

作図の練習を行う建築製図、プランニングと作図能力を身につける設計演習、木構造を理解する軸組模型製作などはスクーリングが中心となります。



1年次一般構造の軸組模型製作

制作を通じて主要な部材の名称や役割を理解します。



1年次建築製図

講師が指導しながら作図手順を修得していきます。



2年次建築製図IIの講師講評

講師からのアドバイスも重要です。



設計演習スクーリングではプレゼンも行います

他の方のプランを知ることも貴重な勉強になります。

1年ごとの流れ

二級建築士受験科卒業年度

		1年次	2年次
前期	4月	●前期オリエンテーション ●建築製図Ⅰ、カラースクーリング	●オリエンテーション ●建築製図Ⅱ、設計演習Ⅰ スクーリング
	5月	●建築製図Ⅰ、一般構造（軸組模型製作） スクーリング	●建築製図Ⅱ、設計演習Ⅰ スクーリング
	6月	●建築史、一般構造Ⅰ 中間試験 ●建築製図Ⅰ、カラースクーリング	●建築製図Ⅱ、設計演習Ⅰ スクーリング
	7月	●建築製図Ⅰ、カラー、建築計画Ⅰ a スクーリング	●建築製図Ⅱ、設計演習Ⅰ スクーリング ●建築法規Ⅰ、建築設備 中間試験
	8月	●建築製図Ⅰ、カラー、建築計画Ⅰ a スクーリング	●建築製図Ⅱ、設計演習Ⅰ スクーリング
	9月	●建築計画Ⅰ a、カラースクーリング ●建築史、一般構造Ⅰ 期末試験	●建築製図Ⅱ、設計演習Ⅰ スクーリング ●建築法規Ⅰ、建築設備 期末試験
後期	10月	●後期オリエンテーション ●建築製図Ⅰ、建築計画Ⅰ b スクーリング	●後期オリエンテーション ●建築製図Ⅱスクーリング
	11月	●建築製図Ⅰ、建築計画Ⅰ b スクーリング	●構造力学Ⅰ、建築施工、 建築製図Ⅱスクーリング ●構造力学Ⅰ試験
	12月	●建築製図Ⅰ、建築計画Ⅰ b スクーリング ●建築環境、建築材料、一般構造Ⅱ中間試験	●構造力学Ⅰ、建築製図Ⅱスクーリング ●構造力学Ⅰ、建築法規Ⅱ、 建築施工中間試験
	1月	●建築製図Ⅰ、建築計画Ⅰ b スクーリング	●構造力学Ⅰ、建築製図Ⅱ スクーリング
	2月	●建築製図Ⅰ、建築計画Ⅰ b スクーリング	●構造力学Ⅰ、建築法規Ⅱ、 建築施工期末試験 ●建築製図Ⅱスクーリング
	3月	●建築環境、建築材料、 一般構造Ⅱ期末試験	◆二級建築士受験科卒業判定会議 ◆一級建築士受験科進級判定会議

●スクーリングの具体的な日程についてはスクーリング予定表をご確認ください。

一級建築士受験科卒業年度

3年次	備考
●オリエンテーション ●建築製図Ⅲ、設計演習Ⅱ スクーリング	【前期学習開始】 1年生入学式 予備校講座／説明会（2年次）
●建築製図Ⅲ、設計演習Ⅱ スクーリング	課題相談日
●建築製図Ⅲ、設計演習Ⅱ スクーリング ●建築計画Ⅱ中間試験	課題相談日 追試験
●建築製図Ⅲ、設計演習Ⅱ スクーリング	課題相談日 追試験
●建築製図Ⅲ、設計演習Ⅱ スクーリング	課題相談日
●建築製図Ⅲ、設計演習Ⅱ スクーリング ●建築計画Ⅱ期末試験	追試験 【前期終了】
●建築製図Ⅲ、建築演習 スクーリング	【後期学習開始】
●建築製図Ⅲ、建築演習 スクーリング ●構造力学Ⅱ中間試験	課題相談日 追試験
●建築製図Ⅲ、建築演習 スクーリング	課題相談日 追試験
●建築製図Ⅲ、建築演習 スクーリング ●構造力学Ⅱ期末試験	課題相談日 追試験
●建築製図Ⅲスクーリング ●建築演習期末試験	追試験 産学展（文化祭）
◆一級建築士受験科卒業判定会議	卒業式



入学式



スクーリング



指導風景



卒業式

講師からのメッセージ

山本 響 講師

町田デザイン&建築専門学校
専任講師
一級建築士
二級建築士
二級建築施工管理技士



●仕事をしながら学ぶ方へのメッセージ

今までいろいろな学生を見てきましたが、仕事をしながら学校で学ぶ事は、皆さんが考えているより大変な事です。まず学生に戻るのも久しぶりで学業に対しての行動が要求されます。さらに建築という難しい学問を学ぶわけです。しかし、2年または3年間を通学し、卒業後建築士になる事を決めた皆さんは、意識が高い人達だと思います。ではそういう意識が高い人達が学業で苦勞する事は何かというと、もちろん仕事との両立の難しさがありますが、一番の苦勞は継続して学習をする事です。簡単に言うと机について、予習・復習する習慣を早期に作る事が出来るかという事です。学校では当然しっかりと講師陣がみなさんを指導していきます。でも予習をしていなければ月に二日程度の授業で内容は把握する事はなかなか困難です。しかも建築の知識なので、しっかりと学習しないとついていけなくなることもなにかねません。なかには、学校に通っているだけで、卒業、建築士を取れると思っている方が散見されます。建築士は国家資格なので、そんなに甘くはないですよ。通常であれば、大学や専門学校で2年～4年かけて学んでいくわけです。それを2年または3年間の月に二日程度の授業で基礎を身につけ、卒業後、試験勉強となるのですから当然厳しい道のりになります。卒業してから試験対策しても遅いのはわかるかと思いますが。本校で学ぶ2年または3年間で予習・復習を習慣化し、学習姿勢を身につけ、そのまま試験に対応していくのが一番です。実際に卒業後、1回で試験にパスされている方は上記の内容がわかっている実行できた人です。これは今までの実績が物語っています。最初に言った通り、皆さんは意識が高い人達ですから進む方向を間違っていなければ、結果が出せる人達だと思っています。入学してから卒業、試験まで色濃い時間を過ごす事になります。時間はあっという間に過ぎていきますよ。充実した学生生活を、講師陣、スタッフとともに過ごしていきましょう。お待ちしております。

戸田 晃 講師

戸田 晃建築設計事務所代表
町田デザイン&建築専門学校講師
一級建築士
インテリアコーディネーター
宅地建物取引主任者



●建築という仕事の魅力について

この仕事の面白さは、想いを形にしていくことです。お客様の家に対する“想いの重さ”を感じてプレッシャーになることもあります。逆にその重さを任せてもらえることで、責任感や達成感を味わえます。ある現場を去る時、お客様に「もう行っちゃうんですか?」と涙ぐまれた際は、本当にうれしかったです。家づくりはお客様といろんな雑談や会話をすることから始まっています。希望やイメージという形のないものが、具体的なプランとして練ることで形になっていく…。お客様の想いを形にする—現在の希望だけではなく、未来も想像して—一歩先をイメージしていく—一形を伝えて一緒に探していく仕事って大切だと思います。常に心がけていることは、会話を通してお客様の人物像を掴むことです。潜在的な要求を会話力で引き出すことを意識しています。建築士は設計のスキルや斬新なアイデアが求められるかもしれませんが、たとえ100人が「YES」と言っても、お客様が「NO」だったら、答えはNOなんです。また、お客様は一人じゃない。ご夫婦だったり、ご両親だったり…。いろんな意見を可能な限り予見していきながら、形にしていく。緊張感と責任感や、楽しさと難しさが共存している仕事ですが、「あなたにお願いして良かった」のひと言で疲れが吹っ飛ばす!それが魅力ですね。

●通信教育で学ぼうと決めた方へ

仕事をしながら勉強するのは厳しいとは思いますが、通信教育であればスクーリングといっても月1回程度です。仲間と交流しながら前向きに勉強して欲しいと思います。そして、“学生”という立場を思う存分活かし、美術館へ行くなどして感性を磨きながら楽しんで欲しいです。自分が学生の時、まわりの学生とコミュニケーションすることを発奮材料にして頑張りました。とにかく、“一度就職(仕事)してから勉強をしようと思った人は、意志が強い”ということです。社会の厳しさを知っている方であれば、最後まで努力できると思うので、仲間と一緒に頑張りたいと思います。

受講生の声

町田デザイン&建築専門学校通信教育では、毎年入学者にアンケートを実施しています。ここでは、アンケートで寄せられた受講生の声から、その魅力についていくつか紹介します。

① カリキュラム などについて

(6ページ、8ページ)

- 受験資格取得に的を絞っているため、大学等と比較して科目数が絞られており、時間に制約のある社会人にとって学びやすい。卒業率が高いのもうなずける。
- 建築士試験の要の製図の授業が、スクーリングで重点的に学べるのがよい。
- 卒業後の予備校との安価な提携もあり、受験勉強までスムーズな流れとなっている。

② スクーリング について

(13~14ページ)

- 遠方からでも通いやすいスケジュール、スクーリング日を柔軟に組んでおり、予定が立てやすい。
- 建築士の受験資格取得を目指す同じ志の仲間と出会い、自分にとって良い刺激となっている。

③ 授業や講師 について

(9~10ページ、17ページ)

- 通信教育のため不安があったが、欠席フォローのシステムがあり、スクーリング時にも講師が丁寧に質問に答えてくれるので助かっている。
- 講師は、学習内容だけでなく、実務や建築士試験についても折に触れては話してくれて、幅広い学びとなっている。

学生の満足度

1年生
95%

2年生
94%

学生インタビュー

町田デザイン&建築専門学校通信教育で学んでいる方に、通信教育で学ぼうと思ったきっかけや、学校での授業の様子などを伺いました。

●入学を決めたきっかけは

佐伯さん：入学前に資料請求して大学の通信制と比較。その中の1つは実際に体験入学に参加してみたけれど、建築そのものを学ぶというよりは、デザインの中の建築を学ぶという雰囲気です。少しイメージが違っていたため断念。町田デザインの説明会は、雰囲気や学校の明るさがあり、スクーリングでの実習の充実や建築士試験のバックアップも充実しているようだったのでここに決めました。

菊池さん：私も大学の通信制について資料請求はして検討しましたが、受験資格の取得に特化している点や、自宅に近いのでスクーリングに通いやすいという理由で町田デザインを選びました。

●建築士資格取得を目指した理由は

菊池さん：もともとインテリアコーディネーターの勉強もしていますが、勉強をすることが好きでした。その延長で何か続けるのな



(左) 佐伯 裕美子さん (右) 菊池 なつこさん

ら建築士試験かなと考えました。現在の仕事はマンションの設計変更の際にお客様の窓口、ゼネコンとのやり取りを行う仕事で、お客様への説明や別の提案をするためにも建築の知識が必要となってきます。また、建築士資格を持っていると、箔がつくのも確かです。一級も取得して転職も考えなくはないですが、現在の仕事が好きなんで、まずは二級建築士資格取得が目標です。

インタビューの全文はこちら▶



通信教育の単位認定の方法

① eラーニングの視聴率80%以上

当校の通信教育では、自宅でのテキスト学習と合わせて、映像教材を用いてのeラーニングの授業を展開しています。各科目の単位を取得する場合、学期末の時点でこのeラーニングの授業の80%以上の視聴率が必要となります。



② スクーリングの出席率80%以上

スクーリングについては、80%以上の出席が求められます。病気等でやむを得ず欠席された場合には、通信教育室に相談してください。

③ 定期試験

学科試験に関連する科目は、科目ごとに中間試験、期末試験を行い、この試験結果で成績を付けます。建築士の学科試験に合わせて60点未満の場合には追試を受けていただきます。追試は、スクーリング予定表の追試日に行いますが、仕事をしながら学習をされている方にとって、スクーリング日以外にも来校しなくてはいけなくなってしまい、時間とお金の無駄になってしまいます。試験前には、入念に準備をしてください。

④ 課題の提出

建築製図や建築計画、設計演習などの科目では、定められた図面の提出や模型の提出が求められます。こちら課題提出日までに提出しないと単位を取得できません。仕事や学業をこなし、試験勉強やeラーニング上のレポート提出もあるなか大変ですが、計画的に進めてください。

通信教育の入学から卒業まで

通信教育の入学から卒業までのスケジュールを簡単にご説明します。通信教育は通学制と異なりご自分でスケジュール管理を行い、学習プランを立てることが大切です。その意味で、通学制と比較して自己管理能力が求められるのです。以下に示したフローチャートを参考に、ご自分の学習プランを作成してください。

専門課程



① 通信教育を始めようと思ったら



「働きながら建築士の受検資格取得を目指したい……」、
「金銭的な面があるので通学制は難しい」という方はぜひご検討ください。

HPで
概要を把握して
ください

不明な
点などは
電話やメールで
お問い合わせ
ください

HP上から
授業体験
サンプルを
視聴してみ
てください

定期的に
入学説明会も
開催して
います

② 入学願書の提出



入学資格、授業料、手続きの詳細は募集要項をご参照ください。

③ 入学許可、ID・PW発行



所定の授業料等を納付していただくと、入学許可証、新年度に入り次第eラーニングのID・パスワードが発行されます。

④ 履修（eラーニング・スクーリング）開始 ▶ 9～16ページ参照



当校の通信教育はテキストによる学習に加え、eラーニングによる授業、多様なスクーリング授業が特徴です。eラーニング上から確認テスト、レポートの提出を行うとともに、スクーリング時に課題の提出、定期試験を行い単位を取得します。

⑤ 卒業要件の充足



卒業必要単位 ●二級建築士受験科：40単位
●一級建築士受験科：53単位

⑥ 二級・一級建築士試験受験へ

サポート体制

在学中のサポート

通信教育は通学制と異なり自宅学習が中心となるため、学期の終了、卒業までのモチベーションを保つのが大変です。仕事をしながらあるいは学業と両立させながら、2年間または3年間で建築士試験の受験資格を取得するのはなかなか大変です。当校の通信教育では、スクーリング時はもとよりeラーニングや事務局の窓口を通じて、また、お電話やメールでのやり取りを通じて個別相談に応じ、全面的に学生をサポートしています。

学習内容の相談

▶担当講師への質問・相談

通信教育では、eラーニングを通じて講師への質問・相談が可能です。もちろん、スクーリング時にも担当講師へ質問・相談も可能です。

講義中の不明な点は「質問する」ボタンをクリックして質問します。講義の進め方、映像教材の視聴についてはinfo-tushin@mdc.ac.jpでも質問を受けています。



▶課題相談日

手書きの製図が初めての方や設計課題の場合、課題の理解～プランニング～作図といった流れで課題を進めていきますが、なかなか自宅だけで課題を進めようとしても思うように進まないこともあります。そのような方のために、スクーリング日とは別に「課題相談日」を設けていますので、有効に活用していただき課題をスムーズに進めることができます。

スクーリング日とは別に課題相談日を設定。疑問点の解消やプランの相談まで講師が相談に乗ってくれます。少人数なので相談もしやすい！

2025年			
月	日	1年次科目	時間
5	3	建築法規	10:00-14:00
5	4	建築法規	10:00-14:00
5	5	建築法規	10:00-14:00
5	6	建築法規	10:00-14:00
5	7	課題相談日	10:00-14:00
5	8	課題相談日	10:00-14:00
5	9	課題相談日	10:00-14:00
5	10	課題相談日	10:00-14:00
5	11	課題相談日	10:00-14:00



金銭面でのサポート (教育訓練給付金)

2022年4月より、二級建築士受験科の講座については、教育訓練給付金の一般教育訓練の指定講座として指定されました。一定の条件を満たした受講生の方に、卒業後に受講者本人が一般教育訓練実施者に支払った教育訓練経費1年分の2割に相当する額を公共職業安定所から支給する仕組みです。入学時のオリエンテーションで概要を説明します。

※二級建築士受験料は教育訓練給付金（一般教育訓練）の指定講座です。

資格取得サポート

▶建築士試験サポート

これから入学をお考えの方は卒業後に二級建築士試験あるいは一級建築士試験の受験を目指していると思います。建築士試験は一級建築士・二級建築士ともに学科試験、設計製図試験と分かれており、当校の卒業生の試験結果からみても、難関試験となっています。(一級建築士試験は、合格率も低くさらに難しい試験です)卒業後に建築士試験を受験する場合、予備校の利用が欠かせないため、当校では、開講以来、建築士試験の予備校である日建学院と提携し、合格対策講座を割安な価格で提供しています。ここでは概要だけお知らせしますが、2年次に開催する日建学院の説明会に参加すれば詳細が分かります。



1) 二級建築士試験合格対策講座

- ① 学 科 試 験 対 策 学科問題解説コース 198,000円▶ 33,000円(税込み)で提供
- ② 設計製図試験対策講座 設計製図本科コース 462,000円▶242,000円(税込み)で提供

2) 一級建築士受験合格対策講座

一級建築士試験は学科の科目も5科目に増え、出題範囲が広く問題数も増えるため、二級建築士試験と比較して、非常に難しい試験となっています。

二級建築士試験と同様に、以下の通り学科試験対策講座、設計製図試験対策講座があります。

- a. 一級建築士学科スーパー本科コース 770,000円(税込み)
- b. 一級建築士学科設計製図本科コース aと同時申し込みで275,000円(税込み)

そのほかに、学科スーパー本科コース開始前に「養成アプローチ講義」「早期重点Web」などのオプション講座もあります。詳細は、日建学院の説明会で確認してください。

※ 1)、2)ともに2025年4月現在の価格です。

その他の資格取得サポート

建築士試験のサポート以外に、在学中に受験可能なインテリアコーディネーター、宅建士など実務に役立つ資格についても、日建学院との提携により合格講座を割安で提供しています。他に整理収納アドバイザー、商業施設士など学内で行う資格試験も受験可能です。

不明な点については通信教育室にお尋ねください。

よくあるご質問

本校の通信教育に関する疑問点をまとめました。
その他にお聞きになりたいこと、疑問点等ありましたら、
お電話、メールで通信教育室へお尋ねください。

Q01 入学試験はあるのでしょうか？

A01. 本校の通信教育課程では、通常の入学試験となる筆記試験、面接試験は行いません。出願時にご提出いただく書類で書類審査を行い、入学資格を満たしていればだれでも入学できます。なお、一級建築士受験料志望の方は、志望動機の提出が必要です。

Q02 私は現在、社会人ですが入学時期は4月に限られるのでしょうか？

A02. 本校の通信教育の専門課程は、入学時期を4月に限らせていただいています。

Q03 入学前に説明会は開催していますか？

A03. 本校では入学前に通信教育の内容を知っていただくための入学説明会を定期的で開催しています。説明会では、通信教育での学習の内容、入学手続き、建築士試験についてわかりやすく説明しています。また、遠方にお住まいで、説明会に参加するのが難しい方のために、映像で通信教育の概要も解説していますので、そちらもご利用ください。

Q04. パソコンは必要でしょうか？

A04. 本校の通信教育課程では、テキスト教材の理解を深めたり、レポートの提出や確認テストなどでeラーニングを導入しておりますので、入学前にパソコンのご購入が必要となります。スマートフォン、タブレットでもeラーニングは視聴可能ですが、機能が限定される場合もあります。

Q05. スクーリングには必ず出席する必要がありますか？

A05. 専門学校の通信教育では、年間120単位時間以上の対面授業（スクーリング）を行うことが義務づけられており、このスクーリングに80%以上出席することが単位認定の条件となります。当校では、水曜日、土・日の選択制とするなど（一級建築士受験料は土・日スクーリングのみ）、働きながら学習する方に便利のようにスクーリング日程を組んでいます。

Q06. 仕事の関係でスクーリングに出席できない場合はどうしたらよいでしょう？

A06. お仕事の都合や家庭の事情でどうしても出席ができない場合が生じることもありますが、一定の出席日数を満たす必要があります。土・日と同じ授業を水曜に行っていますので、別日の授業に参加できるようにお仕事を調整してください（一級建築士受験料は土・日スクーリングのみ）。

Q07. 通信教育課程でも学費のサポートは受けられるのでしょうか？

A07. 可能です。①国の教育ローン、②民間の教育ローンなどいくつかのサポートプランを用意しています。詳しくはHPまたは募集要項の該当ページをご覧ください。

Q08. 卒業までにどのくらい時間がかかりますか？

A08. 通信教育の専門課程は、2年以上在籍でそれ以外には決まりがありませんが、働きながら勉強することを考えると、時間の使い方を上手にしないといくらでもかかってしまいます。お仕事の関係ですべての単位を取りきれない場合には、3年～4年での卒業を目指して計画を立てることも可能です。当校では最長の在籍年数を二級建築士受験科で4年、一級建築士受験科で6年とさだめています。

Q09. 文系の大学を卒業しているため、建築を初めて学ぶのですが、通信教育での卒業は可能でしょうか？

A09. 当校のカリキュラムは、建築の未経験者でも卒業が可能のように組んでありますので大丈夫です。また、通信教育ですがeラーニング上の「質問」フォームからの質問、スクーリング時の質問、課題相談日の利用等でスムーズに疑問を解決可能です。学び続ける気持ちがあれば、誰でも卒業は可能です。

Q10. 年齢が心配ですが大丈夫でしょうか？

A10. 入学前のご質問で、よく同じ質問をいただきますが、勉強するうえで年齢は関係ありません。今までの卒業生でも50代、60代の方がきちんと勉強を続けられ、卒業後に建築士資格を取得しています。

Q11. 他の専門学校に通いながら通信教育の専門課程に入学できますか？

A11. 専門課程への入学は二重学籍にあたるため入学はできません。ただし、短期大学や大学に通う方の場合、二重学籍にあたらなためダブルスクールとして利用することができます。

Q12. 一級建築士の受験資格はどのように変わったのでしょうか？

A12. 改正建築士法により実務経験は免許登録要件となり、また、実務経験の対象実務が拡大されました。この改正により、当校の一級建築士受験科の指定科目を満たして卒業すると、実務経験なしで一級建築士試験の受験が可能となりました。詳しくは「建築技術教育普及センター」のHPを参照してください。

https://www.jaic.or.jp/smph/other_info/2018kaisei.html

Q13. 一級建築士受験科に入学して2年次の終わりに二級建築士試験は受験できますか？

A13. 2年終了時には二級建築士試験受験に必要な指定科目の履修は終了していますが、建築士試験の受験は、卒業が要件となっていますので在学中に受験はできません。

Q14. 二級建築士受験科から一級建築士受験科への転科、またはその逆は可能でしょうか？

A14. 当校のカリキュラムでは、2年次までに主に二級建築士に必要な科目を履修し、一級建築士試験に必要な科目を3年次に履修する仕組みとなっているため、二級建築士の資格を取得するつもりで入学したが、在学中に一級建築士資格を取得の必要が生じた場合には、2年次在学中に一級建築士受験科への転科が可能です。また、逆に当初一級建築士受験科に入学したが、二級建築士の資格で十分という方は、2年次に二級建築士受験科に転科することにより、2年次終了後に卒業が可能です。

ここに掲げた以外にも様々な疑問が生じると思いますので、その場合には、定期的で開催している入学説明会にご参加いただくか、お電話、メール等で通信教育室へお問い合わせください。また、ホームページでも順次情報を更新していますので、そちらもこまめにチェックしてみてください。

ホームページ：<https://tushins.mdc.ac.jp> 通信教育室TEL：042-725-1287



建学の精神

本校の建学の精神は、
次の三大目標を渾然一体として
達成することにある

時代に適應する確かな 専門技術の基礎を教育する

すなわち第一に、未曾有の速さで進展するわが国経済・社会のソフト化、IT化(情報化)、国際化の中で、産業と企業が必要とする専門技術適用の基盤は多岐にわたって拡大し、また国民のライフスタイルはますます個性化、多様化が進もうとしている。本学は、これら時代のニーズにこたえる分野における的確な専門技術の基礎を、短期間に効果的に教育することを目標としている。

個性と創造性を発揮し生涯を通して 人間性豊かに生きる人材を育成する

第二に、わが国経済・社会の変化は、価値観の多様化をもたらすと同時に、生産・サービス活動においても個性、感性、創造性という人間的特性が重要視されるようになってきた。本学は、専門技術教育の過程で、これらの資質を開発、涵養し、高齢化する社会にあって生涯これらの属性を存分に発揮して人間性豊かに生き抜く人材を育成することを目標にしている。

育成された技能者の活動を通して 地域の産業と文化の発展に寄与する

第三に、地域社会を中心に、産業・文化の広範な基底を支える活力に満ちた人材の存在はますます重要視されている。このことはわが国の将来の発展、ならびにわが国の国際社会に対する貢献にとっても欠くことのできない要素である。本学は、前二項に則って、育成された人材が、その習得した技能・技術を通して活動することによって、地域の産業・文化の発展に永く寄与することを目標にしている。



町田デザイン&建築専門学校は、職業教育を旨とした高等教育を担う機関であり、建築・デザインを通じて社会に貢献する人材の育成を目指しています。学校創設から47年、これまでに14,000人以上の卒業生を世に送り出しています。

昨今の時代変化は急激であり、変化する社会に適應して豊かな人生を送るためには、生涯を通してさまざまな学習を続けていくことが必要となっています。しかしながら、キャリアアップを図りたいとの意欲はあっても、時間が取れない方や、自分なりの学習スタイルで勉強をしたいという方のニーズには、今までの通年通学制のスタイルでは応えきれませんでした。

本学の通信教育課程は、建学の精神に則り、上述のニーズに応え、時代に適應する専門技術教育を通じて、個性を活かすキャリア形成支援を行い、変化する社会に柔軟に対応できる実践力と人間性に富んだ人材を育成するために、一人ひとり異なる個性や学習条件を尊重した学習支援を行うための課程です。生涯学習社会の目標である「いつでも、どこでも、だれでも」学べる社会の実現と軌を一にしたものであり、企業に勤務している方々や大学等通学しながらダブルスクールしている方々から支持され、向上の意欲に応えることができるものであると確信しています。

さらに「実学」を重視している本学。実学とは実用の学であり、実際社会の中で直接役に立つ学びです。職業に直接役立つ実用の学=専門技術を提供することを通じて、各人の求めるキャリアアップを支援し、キャリア形成を図ることは、本学の存在意義といえます。

これからも通信教育課程だからこそ、eラーニングだからこそ可能となる反転授業、そしてアクティブ・ラーニングをも意識した、より教育効果の高い教育を目指してまいります。

47年間培った建築工学教育の成果を通信スクーリング教育があるからこそ、一人でも多くの方が腕に技術と資格を身につけることができるよう期待しています。

学校法人東京町田学園 理事長
町田デザイン&建築専門学校 校長
井上博行



学校法人 東京町田学園

since1978

町田デザイン&建築専門学校

通信教育室

〒194-0022 東京都町田市森野1-27-18

Email. info-tushin@mdc.ac.jp

TEL. 042-725-1287

公式webサイト



公式X

